

## 第 21 回 宇宙開発戦略本部 議事概要

日 時：令和元年 12 月 13 日（金） 9：45～9：55

場 所：官邸 4 階 大会議室

出席者：別紙のとおり

議 事：

- (1) 宇宙基本計画工程表（令和元年度改訂）について
- (2) その他

議事概要：

- 冒頭、竹本宇宙政策担当大臣から、資料 1「宇宙基本計画工程表（令和元年度改訂）のポイント」について説明が行われた。審議の結果、「宇宙基本計画工程表（令和元年度改訂）」を宇宙開発戦略本部として決定した。
- 出席者からの発言は以下のとおり。
  - ・ 高市総務大臣から、「総務省では、地上と宇宙をシームレスにつなぐ高度な情報通信ネットワークの実現に向け、「技術試験衛星 9 号機」の開発・実証を進めてまいります。また、盗聴や改ざんが不可能な「衛星量子暗号技術」に関し、安全性の高い衛星通信の実現に向け、その早期確立を目指します。さらに、太陽活動による通信への影響等の観測や予報を行う「宇宙天気予報」についても、今後の安定した宇宙利用などに 貢献するため、引き続き推進してまいります。」といった発言があった。
  - ・ 河野防衛大臣から、「厳しさを増す安全保障環境の中で、軍事力の質・量に優れた脅威に対する実効的な抑止及び対処を可能とするためには、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域における能力を獲得・強化することが死活的に重要になっております。そのため、防衛省は宇宙領域における能力を強化するため、Xバンド衛星を 3 基体制とし、抗たん性を高めるとともに、宇宙作戦隊（仮称）を新編し、JAXA とも連携を図りつつ、SSA 能力を構築して参ります。引き続き、我が国の安全保障上必要な宇宙空間の安定的利用を推進し、政府全体の取組に貢献して参ります。」といった発言があった。
  - ・ 梶山経済産業大臣から、「経済産業省では、宇宙から得られるデータと様々なデータを組み合わせることによりイノベーションが進むよう、衛星データプラットフォーム「Tellus（テルース）」の整備を進めている。また、準天頂衛星「みちびき」の活用推進のため、実証事業を実施するほか、リスク

マネー供給、宇宙関連人材の育成・マッチング支援などを実施している。このように、今後も宇宙ビジネスを支援しながら、宇宙利用の拡大を図ってまいりたい。」といった発言があった。

- ・ 上野文部科学副大臣から、「文部科学省は、来年度打上げに向け、H3ロケットの初号機や、安全保障及び激甚化する災害への対応に貢献する先進光学衛星の開発を着実に進めます。また、本年10月に決定した「米国提案による国際宇宙探査への参画方針」を踏まえ、ISSで培った我が国の強みを活かしながら、ゲートウェイへの提供機器や補給機及び月極域表面移動探査機の開発を進めます。」といった発言があった。
- ・ 佐藤環境副大臣から、「現在、マドリードで開催中のCOP25に小泉環境大臣が出席されていますが、この会場で、温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」1号・2号を展示、紹介し、好評だと報告を受けております。環境省は、パリ協定に基づく世界各国の排出量報告の透明性確保と、気候変動対策への貢献を目指し、「いぶき2号」に続く3号機を文部科学省と共同で着実に開発し、国際貢献を果たしてまいります。」といった発言があった。
- ・ 尾身外務大臣政務官から、「外務省としては、宇宙空間の安定的利用の確保に向け、国際ルール形成の取組や諸外国との重層的な協力の構築を進めています。国際場裏では、本年6月、国連宇宙空間平和利用委員会本委員会において、「宇宙活動の長期的持続可能性ガイドライン」が採択されました。今後、我が国等の共同提案により設置されることとなったワーキング・グループにおいて、積極的に議論に貢献していきます。米国とは、ホステッドペイロードの実現に向けた取組を含め、宇宙安全保障分野での連携を強化していきます。また、各国との宇宙分野における対話も引き続き推進していきます。」といった発言があった。

○ 安倍内閣総理大臣より、以下のとおり指示があった。

- ・ 本日は、宇宙基本計画の工程表を改訂しました。
- ・ 本年10月に我が国が参画を決定した米国の月探査計画については、11月末には欧州も参画方針を決定し、今後、計画の具体化に向けた動きが本格化すると見込まれます。我が国が計画の実現にしっかりと貢献し、プレゼンスを発揮できるよう、工程表に明記した協力項目の具体化を急いでください。
- ・ 国内では、新たな宇宙ビジネスに挑戦するベンチャー企業等の取組が活発となっています。2020年代前半に我が国でサブオービタル飛行を事業化する動きも出ています。内閣府と国土交通省を中心に、その実現に必要な制度整備を加速するなど、新しい宇宙ビジネスを育てる環境づくりを進めてください。更には、災害対応における人工衛星などの社会実装や、宇宙安

全保障の確保に向けた行動など、今回改訂した新たな工程表の着実な実施を進めてください。

- ・ また、来年は、宇宙基本計画自体の改定の年でもあります。次なる時代を切り拓く戦略的な宇宙政策の策定に向けて、関係閣僚は竹本大臣を中心に、連携して取り組んでください。

(議了)

(別 紙)

出席者一覧

安倍 晋三	内閣総理大臣
麻生 太郎	副総理
	財務大臣
	内閣府特命担当大臣 (金融)
	デフレ脱却担当
菅 義偉	内閣官房長官
	沖縄基地負担軽減担当
	拉致問題担当
竹本 直一	情報通信技術 ( I T ) 政策担当
	内閣府特命担当大臣 (クールジャパン戦略 知的財産戦略 科学技術政策 宇宙政策)
高市 早苗	総務大臣
	内閣府特命担当大臣 (マイナンバー制度)
江藤 拓	農林水産大臣
梶山 弘志	経済産業大臣
	産業競争力担当
	国際博覧会担当
	ロシア経済分野協力担当
	原子力経済被害担当
	内閣府特命担当大臣 (原子力損害賠償・廃炉等支援機構)
赤羽 一嘉	国土交通大臣
	水循環政策担当
河野 太郎	防衛大臣
田中 和徳	復興大臣
	福島原発事故再生総括担当

武田	良太	国家公安委員会委員長 行政改革担当 国家公務員制度担当 国土強靱化担当 内閣府特命担当大臣 (防災)
衛藤	晟一	一億総活躍担当 領土問題担当 内閣府特命担当大臣 (沖縄及び北方対策 消費者及び食品安全 少子化対策 海洋政策)
西村	康稔	経済再生担当 全世代型社会保障改革担当 内閣府特命担当大臣 (経済財政政策)
北村	誠吾	内閣府特命担当大臣 (地方創生 規制改革)
橋本	聖子	まち・ひと・しごと創生担当 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック 競技大会担当 女性活躍担当 内閣府特命担当大臣 (男女共同参画)
上野	通子	文部科学副大臣
佐藤	ゆかり	環境副大臣
宮崎	政久	法務大臣政務官
尾身	朝子	外務大臣政務官
小島	敏文	厚生労働大臣政務官
西村	明宏	内閣官房副長官 (衆・政務)
岡田	直樹	内閣官房副長官 (参・政務)
杉田	和博	内閣官房副長官 (事務)

和泉 洋人	内閣総理大臣補佐官 (国土強靱化及び復興等の社会資本整備、地方創生、健康・医療に関する成長戦略並びに科学技術イノベーション政策担当)
古谷 一之	内閣官房副長官補 (内政)
林 肇	内閣官房副長官補 (外政)
木山 繁	内閣官房参与
山崎 重孝	内閣府事務次官
別府 充彦	内閣府審議官
松尾 剛彦	内閣府宇宙開発戦略推進事務局長